

海外事情研究所主催・高大連携事業

夏季世界史セミナー ―世界史の最前線 XVIII―

日時:2026年7月30日(木)～7月31日(金)

開催方法:対面式と遠隔式(Zoom 利用の同時配信)の併用

1 日 目	7 月 30 日 (木)	9:30～10:00	会場受付／Zoom 入室
		10:00～10:10	開会挨拶・事務連絡
		10:10～11:20	講義 1 「宗教からみるアメリカ合衆国：福音派に注目して」 (佐藤 清子)
		11:20～11:30	休憩 (10 分間)
		11:30～12:40	講義 2 「パキスタンの政治・社会・国際関係：イランとの相互関係を軸に」 (登利谷 正人)
		12:40～13:40	昼休み
		13:40～14:50	講義 3 「ロシアの世論の「保守化」と歴史認識問題」 (鈴木 義一)
		14:50～15:00	休憩 (10 分間)
		15:00～16:10	講義 4 「「強い国家、弱い社会」の深層：歴史から考える中国という大国」 (澤田 ゆかり)
		16:10～16:20	事務連絡など
2 日 目	本学博士後期課程の院生によるワークショップ 「各自の研究分野と世界史教育・教科書との接合について」		
	7 月 31 日 (金)	9:00～9:30	会場受付／Zoom 入室
		9:30～9:40	ワークショップ趣旨説明・事務連絡
		9:40～10:20	報告 1 「〈南部〉から見る近現代イタリア：農民運動を事例に」 (小林 史緒)
		10:30～11:10	報告 2 「19 世紀チェコ音楽史研究の現状：スメタナ、ドヴォジャークを例に」 (高宮 理彩子)
		11:20～12:00	報告 3 「近代オスマン帝国の“近代化”とは？：帝国末期の特権問題を考える」 (村田 七海)
		12:00～13:00	昼休み
		13:00～13:40	報告 4 「第一次世界大戦後における女性医師の国際的ネットワーク：ドイツ青少年福祉の共有」 (岩間 有希奈)
		13:50～14:30	報告 5 「地域社会から捉える東欧でのホロコースト：リトアニアの事例を中心に」 (紺谷 南)
		14:40～15:20	報告 6 「社会主義体制とファッション：冷戦期の二項対立的理解を越えて」 (船木 佐紀野)
		15:20～15:40	休憩
		15:40～17:00	各報告への質疑、フロアディスカッション
		17:00～17:10	閉会挨拶